

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイランドHOP		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所を利用する際の丁寧な説明	保護者への方がご安心していただけるように、 分かりやすく簡潔にお伝えをしている。	説明後、不明点や疑問点がなかったかどうか 改めて聞き取りを行う。
2	活動プログラムが固定化されないようになっている	日々ご利用されている中で保護者の方への聞き取り や、連絡帳などで今の療育についてお話をすることで 見直しを行っている。	事業所内での様子をお伝えし、 療育内容の提案ができるようにしていく。
3	安心感をもって通所してくれている	日々子どもたちとの関係性作りに努め、 一人ひとりの職員と子どもたちそれぞれの 関係性が作られている。	送迎者とも関係性作りが行えるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実際の活動中の子どもの様子が分からない	保護者の方が実際に活動を見ることができないものがない。	タブレットで保護者の方との連絡を行っているため、 普段の療育での様子などを写真や動画で お送りし知っていただくことが必要。
2	療育の中での製作活動が少ない	玩具で遊ぶ児童が多かったり利用年齢の幅が広く危険 が伴うため製作活動が思うようにできていなかった。	環境を分けるなどの工夫を行い、 製作活動が好きな子どもたちにも満足してもらえるよ うにしていく。
3	地域と連携した活動が少ない	地域と連携した活動を実施できていなかった。	地域の活動を把握し、 参加できるものには積極的に参加をしていく。